

エルジェイ便り



LJ SOCCER PARK 2008



2008. 8.9合併号発行
No.00041

エルジェイ・サッカーパーク

〒243-0022 厚木市酒井543

TEL:046-220-0506

FAX:046-220-0508

<http://www.l-sport.co.jp>

Lee's Words



エルジェイ・サッカーパークの夏(7月、8月)は、Jr.ユースの「夏合宿」から始まりました。

8月に入り恒例行事となった「盆踊り」、そして昨年初めて試みた小学生対象の「スペシャルサマースクール」と休みなく続き、スタッフ一同青色吐息状態。そして新たに「富士登山」を敢行しました。Jr.ユースチームの中学2、3年生(23人)を対象にし、李・永野・清田のエルジェイスタッフとアドバイザースタッフの飯田先生、YMCA専門学校生インターンシップで研修している大比良君計5人の編成でした。春のエルジェイJr.ユース後援会総会で承認を受け実行の運びとなりましたが、今企画は長年の知人先輩である神奈川新聞小田原支局長の岸さんの大いなるアドバイスを受け実行出来た事もお知らせします。この場を借りて御礼申し上げたいと思います。そしてスタッフ一同本当に御苦労様でした。選手諸君には、富士登山での体験を今後役に立て欲しいものです。私自身もとても苦手な登山でしたが、その達成感は何とも言えないものでした。来年も引き続き行い、恒例行事化したいと願っております。あらためて後援会の皆さまには、心より感謝申し上げます。

さて、野球の甲子園大会、北京オリンピックと話題が豊富な夏でしたが、全国中学校サッカー大会で桐蔭学園中等部サッカー一部が優勝した事はご存じだったでしょうか。

神奈川県の中学校在国大会で優勝したのは初めてです。監督の松田隆志先生は私が桐蔭学園高校監督時代、共にサッカー一部スタッフとして活動した同志です。勝った負けた議論が大勢の中、生徒の将来、教育の中での部のあり方など時間を割いて話し合った事が懐かしく思われます。勝った事におめでとう、そして過程に敬意を申し上げたいと思います。スポーツの華やかな一面だけを捉えるのではなく、それぞれの意義を大人達が認識して頂ける時代はいつになったら訪れるのでしょうか。一步一步前進していくエルジェイ・サッカーパークでした。

(李 国秀)

LJ Academics

2008年・夏。エルジェイ・サッカーアカデミーでは、8月3日に開催された親子大会、さらに7月から8月にかけてスペシャルサマースクールを行いました。

親子大会では強い日差しの照りつける中、たくさんの親子が参加してくれました。午前・低学年の部(年中～3年)・午後・高学年の部(4年～6年)共に白熱したゲームが繰り広げられました。特に午後にはエルジェイスタッフでチームを結成し試合に参戦。子ども達が果敢に攻めてくると、思わず負けられない? 戦いもあったような……。

サマースクールでは各4日間で通常のスクール時間より30分長く、コートを広く2面を使って行いました。昨年はスペシャルクラス対象の2回での開催でしたが、今年は高学年対象2回と低学年対象1回の計3回行いました。

高学年クラスでは、ボールの中心を意識しながら、遊びを取り入れたトレーニングでボールを自由に扱えるように、また相手を見てボールコントロールやディフェンスの時に「いつ足を出すか?」などのコツを指導し、低学年クラスではステップワークや足の様々な部分を使ってボールを扱うことを中心に行いました。期間中参加した子ども達が家で復習をしていたり、どんな事をやったのか帰ってから話をしていたという話を聞きました。このサマースクールをきっかけにサッカーの面白さを手に入れたことでしょう。

余談ではありますが、今回は途中からお母さん方にも参加してもらい、ボールを足で扱う難しさを知ると同時に、ちょっとしたコツを掴んでいただけたのではないのでしょうか。

(松川 友明)

厚木商工会議所青年部の地域貢献イベントの一環として、親子サッカー教室が先日開催されました。“青少年の育成”と“スポーツを通じてコミュニケーションを図る”を目的として参加者を募集したところ、あるサッカー少年団のご協力もあって大人・子ども合わせて約60名の参加となりました。

最初の1時間は、当サッカーパーク代表の李と、Jr.ユースチームヘッドコーチの松川によるサッカークリニックを行いました。小学生達はプロの技術を1つでも多く学ぼうと、真剣な眼差しで話に耳を傾け、一生懸命チャレンジしていて、ご多忙中にも関わらず急遽応援に駆けつけていただいた小林厚木市長からも熱い声援が飛ばされていました。

クリニック後のフットサル大会(大人2チーム・子ども4チームの計6チーム)では、覚えての技術を試しながら白熱した試合が繰り広げられ、大人顔負けのテクニックで大人チームも手を抜けない程でした。お父さん方は直接対決してみて、子どもの成長ぶりを肌で感じる事が出来たのではないのでしょうか?

今回は、地域貢献・活性化のお力になれて大変光栄に思います。これに限らず、社内活性化等のお手伝いも出来ればと思っておりますので、皆様もスポーツのもたらすパワーを最大限に活かしてみませんか。

(永野 亨)

SOCCER PARK
EVENTS